

上野原遺跡 再 探訪

発掘当時の上野原遺跡をふり返って

鹿児島県立埋蔵文化財センター
文化財主事 彌 榮 久志～上野原遺跡集落跡発見の背景とその意義～
～前編～

平成7年4月に5人の調査員は上野原工業団地第4工区の発掘調査に入りました。そこは上野原遺跡第Ⅱ～Ⅶ地点で、対象面積が5.9ha、期間は2ヶ年計画でありました。平成7年度は東側の第Ⅶ地点から掘り始め、第Ⅵ・Ⅴ・Ⅳ地点を調査しました。遺跡は縄文時代晩期と弥生時代中期の遺構等が発見されました。

また、その年度は旧石器時代の調査のため、約22,500年前のシラスとそれ以前に福山沖火口から噴出した約90,000年前の亀割坂角礫層まで、約5m掘り下げました。そこは、旧地形が深い谷状になっており、桜島が噴き上げた軽石層である約7,500年前のP11と約11,500年前のP14（別名薩摩火山灰）が厚く堆積していました。（※注1）

その二つの黄燈色火山灰に挟まれた黒色土層中に、約50cmの厚さをもち、レンズ状にばらけた状態で堆積した未確認の燈色火山軽石層を発見しました。それは約10,000年位前と思われる層位で、この火山灰が2年後の平成9年6月に鹿児島県から全国へ発信した「最古最大の集落」の決め手になるとは思いもしませんでしたが、次年度は、未確認火山灰も想定して発掘調査を進めることにしました。

平成8年度の調査は調査員も一部入れ代わり、第Ⅲ地点から始め、第Ⅱ地点の舌状台地に移りました。

上野原工業団地開発に伴う発掘調査は記録保存を前提に、昭和61年度に第1工区と全体の遺跡範囲確認調査、平成3～6年度に第3工区、平成7・8年度の第4工区で最終終了する工程でした。

これらの最後の最後の発掘調査が、第Ⅱ地点の約6,300年前のアカホヤ火山灰（※注2）より下の縄文早期の遺物がでる黒色土層の発掘調査でした。当時は前述の未確認の火山灰を意識しながら舌状台地の地形に合わせ、台地部と谷部を地層に添って掘り下げていき、それに伴い塚状の排土山を3ヶ所築き、できるだけ高い所から舌状台地を観察して進めていきました。

黒色土層を掘り下げて行くと縄文時代早期の前平式土器等が出土し始め、P14上面で集石や四角形をした堅穴住居跡に埋まった黒色土が現れまし

た。その黒色土の中央に円形の燈色火山灰を確認できました。「決定打だ、これはもしかすると昨年発見していた未確認の火山灰ではないか。これはこの時期の遺跡の年代を決める鍵層になる。」と直感しました。

調査が進むにつれて、つぎつぎと方形の堅穴住居跡を検出し、火山灰が入っていないものも含め、当初49基であったが、最終的に52基を確定しました。

また、その火山灰は土層断面にも確認され、それを年代測定した結果、約9,500年前の桜島噴出物のP13であることが専門家によって認定されました。

発掘調査では52基の堅穴住居跡群を始め、石蒸調理場である集石39基や燻製調理場と考えられる連穴土坑16基、北側崖の湧水地点に向かう集落の2筋の道跡等が発見され、全国に南九州の縄文早期前葉集落の全貌を発信することができました。



P13火山灰の発見土層

〈※注1〉

「P」とはpumice（パミス＝軽石）の頭文字のPで、数字は桜島が軽石噴火をした番号である。数字が若いと新しい噴火である。番号はP1～17までである。ちなみに、P1が大正3年、P2が江戸時代の安永年間、P3が室町時代の文明年間である。現在はP11が今から8,000年前、P13が10,600年前、P14が12,800年前とされている。

〈※注2〉

アカホヤ火山灰は鬼界カルデラ内の竹島付近の噴出物で、現在は約7,300年前のものとされている。



10月～H24.3月の上野原縄文の森イベント情報



第31回企画展 「新発見！かごしまの遺跡2011」～県立埋蔵文化財センター発掘速報展」

第32回企画展 「川内川流域に生きた人々～激甚災害対策特別緊急事業に伴い発掘された遺跡～」

	日	曜日	申込	行 事 名	備 考	定員
10月				好評開催中	第31回企画展「新発見！かごしまの遺跡2011」(～11月27日回まで)	
	21	金	*	鹿児島の遺跡に学ぶ 第2回「自然と共に生きた南九州の人々」(場所：かごしま県民交流センター)	一般向け、無料	50名
	22～23	土～日		第8回縄文の森秋まつり 10:00～15:00	無料(※一部体験メニューは有料)	
	29	土	*	縄文の森不思議探検 第3回「秋の星座を観察しよう」(※受付終了しました。)	小・中学生向け、無料	30名
11月	1～13	火～		縄文の森ミニ企画展 第2回「県内の文化財の紹介」		
	12	土		第31回企画展講演会	一般向け、無料	
	19	土	*	一日縄文人体験「縄文ケーキ&縄文リース作り」	小学生以上、無料	30名
	19	土	*	考古学講座 第4回「遺跡を見学しよう」(※受付終了しました。)	一般、500円	50名
	26	土	*	どんぐりイベント「秘密基地を作ろう&おにぎりサンド作り」	300円	
12月	3～	土		第32回企画展「川内川流域に生きた人々」(～3月18日回まで)		
	10	土	*	どんぐりイベント「縄で作る正月リース&干し柿作り」	300円	
	17	土	*	一日縄文人体験「冬の祭り」ミニ門松作り」	小学生以上、無料	30名
1月	7	土	*	一日縄文人体験「天まで揚がる凧作りと凧揚げ大会」	小学生以上、無料	30名
	21	土		第32回企画展講演会	一般向け、無料	
	28	土	*	どんぐりイベント「節分を楽しもう(工作、恵方巻作り、お菓子まき)」	300円	
2月	4	土	*	考古学講座 第5回「鹿児島の縄文遺跡」	一般向け、100円	80名
	10～24	金～		縄文の森ミニ企画展 第3回「縄文の森20景」		
	18	土	*	一日縄文人体験「縄文料理を作ろう」	小学生以上、無料	30名
	25	土	*	鹿児島の遺跡に学ぶ 第3回「縄文はおもしろい」(場所：かごしま県民交流センター)	一般向け、無料	50名
3月	13～31	火～		あなたがとらえた森の情景～秋・冬編～(写真募集期間:10/1～3/1)		
	24	土	*	どんぐりイベント「ふれあい体験(アウトドア料理に挑戦!)」	300円	

- 詳細につきましては、上野原縄文の森までお問い合わせください。
- 「*」がついているイベントにつきましては、事前申込が必要です。

【開園時間】午前9時～午後5時

(展示館入館は午後4時30分まで)

【休 園 日】毎週月曜日(休日に当たるときは、その翌日)

(4/29～5/5及び8/13～15は無休)

12/30～1/1(年末年始)

【利用料金】(団体は20名以上) ※展示館内の展示室・シアターのみ有料

◇個人 小・中学生 150円 高・大学生 210円 大人 300円

◇団体 小・中学生 120円 高・大学生 160円 大人 240円

(県内の学校が教育課程等に基づき学習活動の一環として利用するとき等は減免措置有り)

縄文の森へのご案内

九州縦貫自動車道 → 溝辺IC

車で約40分

加治木IC → 東九州自動車道 → 国分IC

車で約15分

鹿児島空港

車で約40分

バスで約25分

J.R鹿児島中央駅 → J.R国分駅

車で約20分

日豊本線で約40～45分

車で約20分



【編集・発行】財団法人鹿児島県文化振興財団 鹿児島県上野原縄文の森

〒899-4318 鹿児島県霧島市国分上野原縄文の森1番1号 電話(0995)48-5701 FAX(0995)48-5704

URL http://www.jomon-no-mori.jp E-mail:uenohara@jomon-no-mori.jp

上野原縄文の森

UENOHARA
JOMON NO MORI

だよい

2011.10
Vol. 21

表紙写真：上野原縄文の森フォトコンテスト

くあなたがとらえた森の情景～春・夏編～

特選「阜月日和(さつきびより)」 関民子さんの作品

2ページ 第31回企画展「新発見！かごしまの遺跡2011」

3ページ あなたがとらえた森の情景～秋・冬編～作品募集ほか

4ページ 縄文体験にトライしてみよう！ほか

5ページ 上野原遺跡 再探訪③

6ページ 10月～H24.3月までのイベント情報

